



# サポセン

だより

第8号

2023.10

「サポセン」は、埼玉県障害者雇用総合サポートセンターの愛称です。

## 特集

## 障害者と共に働く企業インタビュー

埼玉県では、障害者雇用に積極的な事業所の優れた取組を取材し、障害のある人の働く様子や生の声、そして事業主の職場環境づくりの工夫や障害者雇用への思いをサポセンだよりで発信しています。

今回は、社長さんの熱意や社員の皆さん自らが仕事の教え方を工夫するようになったことなどで、障害のある方が健常者と同じように仕事をし、生き生きと活躍している(株)山水花園さんをご紹介します。

働きやすい環境で  
多様な能力を発揮

### 株式会社 山水花園

#### ■企業概要

名称 株式会社 山水花園 (川島町)

事業内容 生花生産及び販売、農業

従業員数 12名

障害のある従業員数 2名 (発達障害)

山水花園さん。周りは田畑で静かな落ち着いたところに立地。



販売店への生花卸売り(左)のほか  
花祭壇の設営もしている(下)。



#### 株式会社 山水花園

やまざき こういち

代表取締役社長 山崎 浩一 さん

にお話を伺いました。



山崎社長「障害者は大切な戦力であり貴重な人財」

#### 理念について

当社の理念の一つに「私たちは、花の文化や歴史を学び伝えていく事で、花にかかわるすべての人を幸せにします」というものがあります。

花火大会などがぱっと浮かびますが、花から発生した文化というものはたくさんあると思います。

こういった花の歴史や文化を若い世代にどんどん伝えていきたいですね。

なぜなら、花は悲しい時はその悲しさを半減し、嬉しい時には嬉しさを倍増させます。そこに花があることを感じてもらう。そして、そこには「幸せ」もある。花の歴史や文化を伝えることで、そのことを多くの人に知ってもらいたいと考えてます。

## 障害者雇用のきっかけ

埼玉県中小企業家同友会に入会した後、3年前に特別支援学校である「さいたま桜高等学園」の見学会のチラシをもらいました。友人に障害者がいたこともあって障害者雇用に興味を持っていたので、参加してみたことがきっかけです。

行ってみて驚きましたね。普通に火気を扱っていたり、マシンや電気のこぎりを使っていたりするので。健常者よりも上手く扱っていて、障害者は「守られるもの」と考えていた先入観を反省すると同時に、一緒に働いてみたいと明確に思うようになりました。

## 受入れの準備

まずは社員に理解してもらうことから始めました。

最初はみんなキョトンとして何を言っているのか理解していない様子でしたが、2,3回話して分かってもらえました。「社長がやりたがっているから、しょうがない」と思ったのかもしれませんが(笑)。

後は、障害者にさせていただく仕事を切り出しました。その上で、まずは実習として就労支援継続A型の事業所から週3日に来てもらうこととなりました。支援スタッフも3人ほどついてくれていましたね。

最初は上手いきませんでした。仕事の切り出しが不十分で戸惑っている様子でした。これでは良くないと思い、どの仕事に適しているのか切り出した仕事を更に細分化したタスク表を作りました。もう一つは「仕事の見える化」。業務でやってもらいたいことを分かりやすくする工夫を社員みんなで考えるようになりました。

## タスク一覧表 ランク1

	熟練度		
	上手に出来る	出来る	出来ない
1 値段シールを左上に貼る	○	○	○
2 扱うお花の名前がわかる (20品目)	○	○	○
3 扱う鉢物の名前がわかる (20品目)	○	○	○

○で記入

山崎社長が作ったタスク表の一部。仕事の項目は198種にも及ぶ。

## 教える工夫

障害者と働くうちに、社員にも変化が見られるようになったそうです。

「何でできないの?」ではなく「どのようにすれば、やってもらえるか?」と考えるようになったとのこと。

山崎社長は「今までは聞かれないと教えなかった事を、みんなで教え合うようになった」「全体的にやさしい雰囲気となり、一緒に働く仲間と思うようになってくれた」とおっしゃっています。



### 「社員さんからのアイデア」

花束にする時に、花の高さを揃える位置や葉を取る位置をわかりやすくラインで色分けして、作業机に貼ったとのこと。

口頭の指示ではなかなか上手いかなかったことが、すぐに理解されラインがスムーズに流れるようになったそうです。



## 配慮について

現在二人の障害のある社員が働いています。

一人は採用した時に、朝が弱く遅刻が多いと聞いていました。社員には、「本人が一番気にしているのだから、遅刻しても注意しないように」と伝えていました。採用して丸3年になりますが、今ではほとんど遅刻をしていませんね。

もう一人はパニック障害もあって、初めてのことや相手が強く出た時の対応などが苦手でした。精神的に負荷のある仕事をする時は服薬もしていたようなので、話を良く聞き、最初は服薬が必要となるような仕事はなるべく減らすようにしていました。

この人も現在は薬を飲まずに仕事ができています。

## 社内の変化

障害者と働くようになってから3年。最初の頃とは全く別の会社になったような気がしています。

障害者が社員と馴染んでいるのは、普通に感じていたのですが、健常者である社員間でも接し方の変化が出てきています。社内では老若や男女の別なく、分け隔てがない雰囲気になっていると思います。

誰に対しても遠慮なく言いたいことを言ってもらう。そうすることによって自分らしく生きてほしい。

経営者として、そういった仕事環境を作っていきたいと思っていたので、本当に嬉しい変化です。

社員研修の一環で、11月に社員全員で近くの特別支援学校の見学に行きたいと思っています。私が障害者雇用を進めるきっかけとなった場所を社員にも見てもらうことで、見識を広めてもらいたいのと同時に、身近にそういった方々がいるのを感じてもらいたいと思っています。

## 能力の発揮

最初に就労支援継続A型事業所から来た方は、諸事情により残念ながら採用には至りませんでした。慣れるとピカイチの仕事が出来ていました。

ラインに入っても仕事は早いし、社員でも気付かないような不良品を見つけたりしていました。

現在働いてもらっている二人も同じです。ラインから配達、事務仕事もこなしてくれて、他の社員と全く同じように働いています。もう、会社にとって欠かせない戦力です。

## 今後について

人手不足のこの時代、障害者の力を借りずに会社が成長することは難しいと感じています。

「人財がここ（障害者）にある」ということを気付くことが大事です。今後も障害者の能力を発見することに力を入れたいと思います。

これは他の企業さんにも言いたいのですが、例えば特別支援学校に見学に行くなど、障害者と触れ合ってみてほしいと思います。いろんなことを一生懸命やっている姿を見れば、考え方がきっと変わると思います。

今後ですが、障害がある若い人たちともっと関わっていきたくて思っています。放課後デイサービスの一環で、当社の農場でお子さんたちに収穫体験をしてもらっています。

土をいじりながら、一方で水をタンクから汲み出したり、トイレが水洗でなかったりなどの不便さを体験してもらうことは一つの学びになると考えています。

当社のもう一つの理念は「私たちは、花と農業の可能性を追求し、地域社会に笑顔を創造します」です。

私は、障害の有無や年齢性別に関係なく、その人らしく生きることができ、行き交う人が笑顔であいさつするような地域をつくりたいと思っています。

山水花園の取組が、その実現につながると信じています。



放課後デイサービスの様子

休耕農家から借受けたビニールハウスは、所々穴が開いて傷んでいたが、社員の皆さんが手作業で修理したとのこと。



## サポセン 当事者 インタビュー

令和2年から山水花園に勤務してまもなく4年目。  
新井 沙季さんにお話を伺いました。

- Q どんなお仕事をしていますか？
- A ラインに入って花束を作ったり、配達をしたりしています。
- Q 仕事はいかがですか？
- A 商品を出した時、お客さんから良い感想を言ってもらえると嬉しいです。
- Q 大変なことはありますか？
- A 倉庫作業は、夏暑く、冬は寒いです。
- Q 働いてやりがいを感じることや、楽しいことは？
- A 配達の時、花の売れ具合などの状況を確認でき、どんな花が人気があるか分析できることが面白く感じます。
- Q この会社に入って良かった点は？
- A やりたいことを実現させてくれる仕事のしやすい会社だと思います。将来フラワーアレンジメントの資格を取って、仕事に役立てたいです。



配達に向かう新井さん

「花祭壇設営のスキルを高め、お客様のご要望に沿うイメージを上手に表現したいです」

## 【埼玉県からお知らせ】 週20時間未満からの障害者雇用を支援します

週20時間未満から雇用して徐々に労働時間を増やし週20時間以上の雇用にしませんか？

埼玉県障害者雇用総合サポートセンターでは

- ・雇用前の受入準備から個々の事業所に適した人材のマッチングを支援します。
- ・雇用後週20時間以上へのステップアップや職場定着まで、伴走してサポートします。

### 主な支援内容

- ・社内コンセンサス、準備、作業環境、設備環境等雇用管理について具体的改善提案
- ・仕事の切り出し方、働き方の工夫、業務手順の改善、配慮事項、職場環境の調整等
- ・短期雇用体験利用（1日2時間×2日～）の提案
- ・ジョブコーチ利用の提案
- ・関係機関と連携して企業をサポート 他

【お問合せ先】

埼玉県障害者雇用総合サポートセンター  
専任コーディネーターまで TEL:0120-540-271



# 埼玉県障害者雇用総合サポートセンター ご案内

埼玉県障害者雇用総合サポートセンターは、埼玉県が運営する企業の障害者雇用を支援する専門機関です。

「企業の障害者雇用を全力でサポートします！」

1

雇用に  
適した仕事を  
提案します

2

雇用体験が  
できます

3

働きやすい  
職場づくりを  
助言します

4

職場に  
付き添って  
支援します

## 雇用開拓業務部門

障害者雇用開拓員が企業を訪問し、障害者雇用制度の仕組みや各種支援について情報提供します。



☎ 048-822-3111

## 企業支援業務部門

障害者雇用に向けて、専門のアドバイザーが具体的な助言・提案をします。  
短期(3日~5日)の雇用体験(職場体験実習の受入れ)ができます。

☎ 048-827-0540

## 定着支援業務部門

障害のある人が職場に適應できるよう、ジョブコーチを派遣しサポートします。  
支援機関のスキルアップもお手伝いします。

☎ 048-823-9020



## 所在地

〒330-0074

さいたま市浦和区北浦和5-6-5  
浦和合同庁舎 別館1階

## 利用時間

月~金 午前8時30分~午後5時  
(祝日及び12/29~1/3を除く)



ホームページはこちらから



障害者雇用に関するちょっとした困りごとは「障害者雇用ヘルプデスク」にお電話ください。

## 障害者雇用ヘルプデスク

☎ 0120-540-271

## 「サポセンPR動画」配信しています！

埼玉県では、障害者雇用のメリットやサポセンの支援をYouTube埼玉県公式チャンネルから「サポセンPR動画」の配信をしています。短時間の見やすい動画ですので、ぜひ一度ご覧ください。

サポセン全体編(約10分)

雇用開拓部門編(約5分)

企業支援業務部門編(約7分)



動画はこちらから



動画はこちらから



動画はこちらから



## サポセンの新型コロナウイルス感染症防止対策について

サポセンでは、新型コロナウイルス感染症防止対策に取り組みながら、雇用開拓、研修・セミナー、個別企業支援、ジョブコーチ派遣などの各種支援を行っています。

企業、支援機関の皆様のご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。